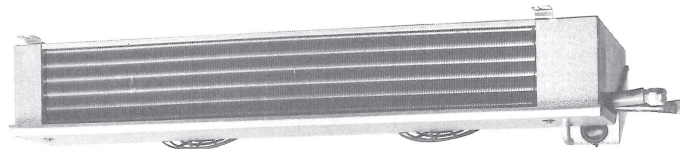
Panasonic®

据付説明付き

取扱説明書

クーリングコイル（業務用）

品番	冷蔵 （使用温度：+25℃～+3℃）	冷蔵 （使用温度：+3℃～-10℃）	冷蔵 （使用温度：-10℃～-35℃）
	CC-T1330	CC-T1330H	CC-T1430FH
	CC-T1630	CC-T1630H	

もくじ

ご使用前に

安全上のご注意 ・・・・・・・ 2～4
各部のなまえ・・・・・・・・・・・ 5

据付けのしかた

設置について・・・・・・・・6～10
電気配線工事について・・・・・・11
試運転について ・・・・・・・・・11

操作のしかた

ご使用方法・・・・・・・・・12～13

その他

点検とお手入れのしかた ・・・・・14
修理について・・・・・・・・15～16
仕様・・・・・・・・・・・・17～18
付属品寸法・・・・・・・・・・・・19
製品取付天井寸法 ・・・・・・・・19
製品電気回路図 ・・・・・・・・・20
配線図 ・・・・・・・・・・・21～26

上手に使って上手に節電

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

● 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
ご使用の前に「安全上のご注意」（2～4ページ）を必ずお読みください。

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	注意「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容です。	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源回路を切る

〈発煙・発火、感電のおそれ〉

異常・故障例

- ●漏電遮断器が自動的に「切」になる。
- ●運転中、焦げ臭いにおい、異常な音がする。
- ●電源線が異常に熱い。
- ●災害で製品が水没した場合。
- ●ビリビリと電気を感じる。

●すぐにお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■電源線は…

禁止

次のことをしない

〈火災や感電のおそれ〉

- ●傷つけない、破損しない、加工しない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない。
また、重い物を載せたり、挟み込んだりしない。
- ●ぬれた手で電気部品に触れない。

次のことを守る

〈火災や感電のおそれ〉

- ●電源は専用回路を設ける。

アース接続

アースを接続する

〈漏電時に感電のおそれ〉

- ●アース工事は必ず専門の業者に依頼してください。

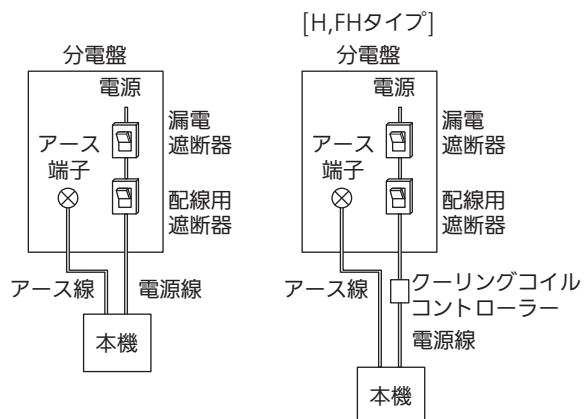
■電気工事について…

専門業者に依頼する

●電気工事とは…

- ● 漏電遮断器を取り付ける。
- ● 配線用遮断器を取り付ける。
- ● 分電盤のアース端子に接続する。
- ● 電気工事は「電気設備に関する技術基準を定める省令」に従い電気工事士の有資格者が行なう。

（火災や漏電のおそれがあります。
アースが不完全な場合は、感電のおそれがあります。）

⚠警告

■お使いのときは…

禁止

次のことをしない

〈火災や感電のおそれ〉

●揮発性・引火性のある物は庫内に入れない。
●可燃性スプレーを製品の近くで使用したり、可燃物を置いたりしない。
●製品の外側や庫内に直接、水をかけたり、水洗いしたりしない。
●ぬれた手でスイッチを操作しない。
●分解や修理・改造は絶対にしない。
●製品の外側にねじなどを打ち付けない。

〈引火爆発・火災のおそれ〉

●ガス漏れに気づいたら製品やスイッチに手を触れない。

〈やけど・けがのおそれ〉

●吹出口・吸込口・可動部に指や棒を入れない。

次のことを守る

●食品の一時保存用として使用する。

〈引火・爆発のおそれ〉

●ガス漏れに気づいたら窓を開け換気する。

■使用温度範囲を守る

●仕様欄を確認し、適切な機種を適切な温度範囲で使用する。

■設置のときは…

禁止

次のことをしない

●水のかかりやすい場所に据え付けない。
●屋外で使用しない。

〈ショート・感電のおそれ〉

●ドレンホースに巻いてあるヒーターを切断しない。（H,FHタイプ）

次のことを守る

●据え付けは専門業者に依頼してください。専門業者以外で工事をされると水漏れ、感電、火災の原因になります。
●重量に充分耐える水平な所に確実に据え付ける。

■お手入れや整備・点検のときは…

次のことを守る

〈けが・感電のおそれ〉

●必ず電源回路を切る。

■保管・廃棄時は…

禁止

次のことをしない

●子供が遊ぶ可能性のある場所には放置しない。
（閉じ込めなどのおそれがあります。）

次のことを守る

●テープやロープなどで扉が開かないように固定する。
（閉じ込めなどのおそれがあります。）
●雨水のかからない場所に保管する。
（漏電、感電のおそれがあります。）
●製品の廃棄は専門業者に依頼する。
詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
●使用を終了した製品は、万一の落下防止のため放置せずに撤去をする。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠注意

■お使いのときは…

禁止

●運転中の製品に手を触れない。

〈酸素欠乏のおそれ〉

●腐食性ガスを発生する食品は、無包装のまま貯蔵庫に入れない。

〈やけど・感電のおそれ〉

●露出している配管や配線には触れない。

〈貯蔵物梱包材の劣化のおそれ〉

●貯蔵物は運転中の製品に触れない場所に貯蔵する。

●異常運転停止の場合には、商品の温度上昇を防止する。
商品の移動もしくは貯蔵庫内にドライアイスなどを入れる。

■設置・移動・保管・廃棄時は…

禁止

●温泉地や海岸付近での使用・保管は、故障の原因になることがあります。
（硫酸分や塩分が多いため）

●可燃性ガスの漏れるおそれがある場所へは設置しない。

●排水工事を確実に行う。

■お手入れのときは…

●漏電遮断器は、定期的（一年に一回以上）に動作確認をしてください。点検方法はお買い上げの販売店、またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

各部のなまえ

品番：CC-T1430FHで説明しています。

正　面

冷媒入口パイプ

冷媒出口パイプ

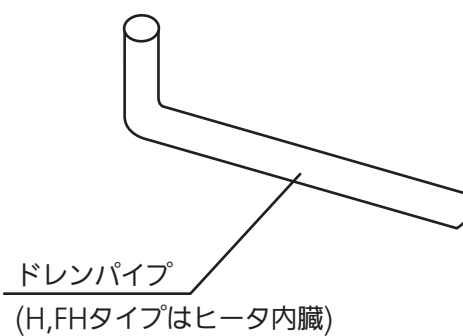
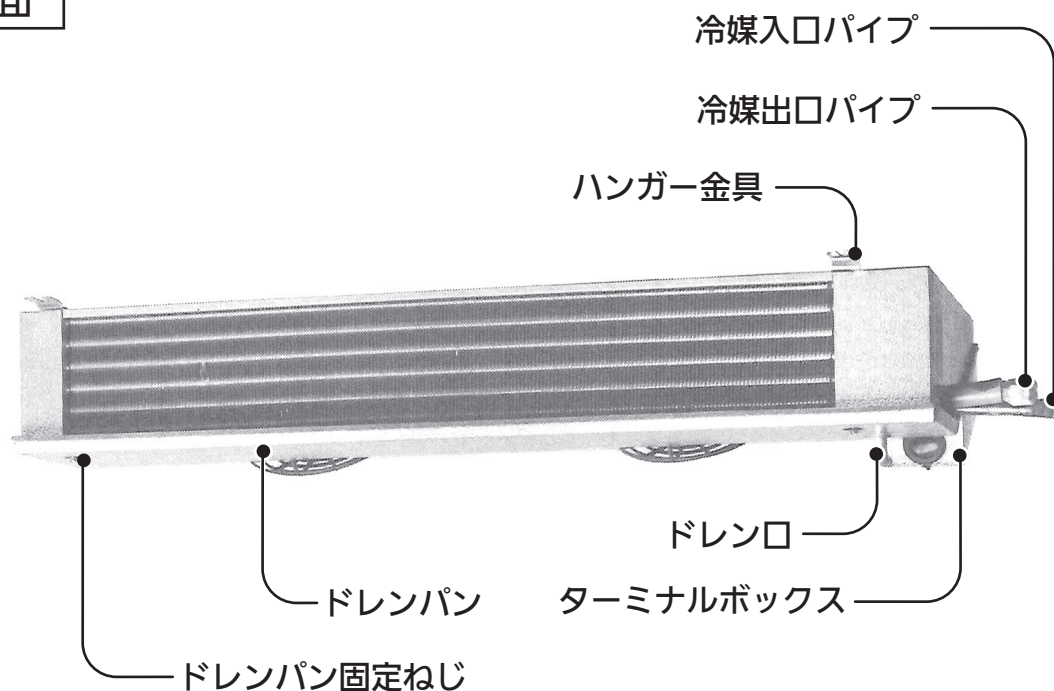
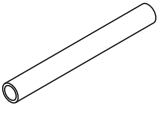
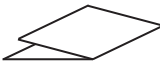
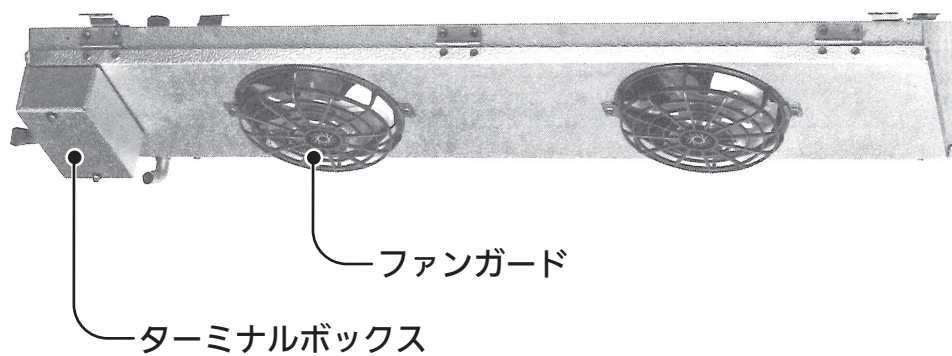
ハンガー金具

ドレン口

ドレンパン

ターミナルボックス

ドレンパン固定ねじ

ドレンパイプ
(H,FHタイプはヒータ内臓)

側　面

設置について

据え付けの前に

■下表を参考に本製品の付属品を確認してください。

名　称	形　状	個数	名　称	形　状	個数	名　称	形　状	個数
ドレンホース		1	ホースバンド		2	取扱説明書（本誌）		1

※ドレンホースの寸法はP19を参照願います。

■冷媒配管の接続仕様は下記のとおりです。

冷媒入口	φ12.7 mm FN(3/4-16UNF)
冷媒出口	φ15.88 mm OD 溶接

■ドレン配管の接続仕様は下記のとおりです。

ドレン口寸法	φ 16.0 mm OD
ドレンホース内径	φ 16.0 mm ID

■端子台に使用する丸端子はご使用になる電気回路の電流値・配線距離により下記の中から選定してください。

メーカー	日本圧着端子製造（株）
型式	R1.5-4
型式	R2-4
型式	3.5-R4

※端子加工の際は、端子メーカーが指定する適用圧着工具を使用して加工してください。

設置について

ご用意するもの

■クーリングコイルを設置するにあたり、付属品以外に下記のものが必要です。

クーリングコイルの据え付けに必要なもの

	呼び	個数
ボルト	M８	4
ナット	M８	8
ばね座金	M８	4
平ワッシャー（みがき丸）	M８	8

冷凍回路や電気制御回路等との接続に必要なもの

電磁弁	ご使用の冷媒、冷却ユニットの仕様および設置先冷却回路より最適のものを選定してください。
膨張弁（内部均圧式）	ご使用の冷媒、冷却ユニットの仕様および設置先冷却回路より最適のものを選定してください。
オイルトラップ	冷却回路のオイル戻りを良くするために、できるだけ小さいものを設けてください。
銅配管	クーリングコイルの冷媒入口・出口管の接続仕様をご覧になり適正サイズを選定してください。その他の配管は冷却ユニットやその他接続機器の取扱説明書ならびに施工説明書を良くお読みになって選定してください。
ドレン用配管	ドレン接続仕様をご覧になり選定してください。
接続電線	設置機種の仕様、必要電線長さ等より選定してください。
丸端子	P6をご覧ください。
結束バンド	電気の配線処理に使用します。

使用工具

・電動ドリル
・パイプカッター
・フレアツール
・スパナー
・ドライバー（+）
・圧着機
・プライヤー（ペンチ）

■ねじの締めつけトルクは下表を参考としてください。

	締めつけトルク（N･m）	対象部品
M４ねじ	0.9	外装カバー取り付けなど
M５ねじ	1.7	電装箱取り付け・ドレンパン取り付け・ファンガード取り付けなど
端子ねじ	1.62 ～ 1.98	端子台への端子取り付け

■フレアナットの締めつけトルクは下表を参考としてください。

パイプ径	締めつけトルク（N･m）
φ 6.35（1/4”）	12 ～ 17
φ 9.52（3/8”）	31 ～ 38
φ 12.7（1/2”）	44 ～ 54
φ 15.88（5/8”）	54 ～ 63
φ 19.05（3/4”）	72 ～ 82

設置について

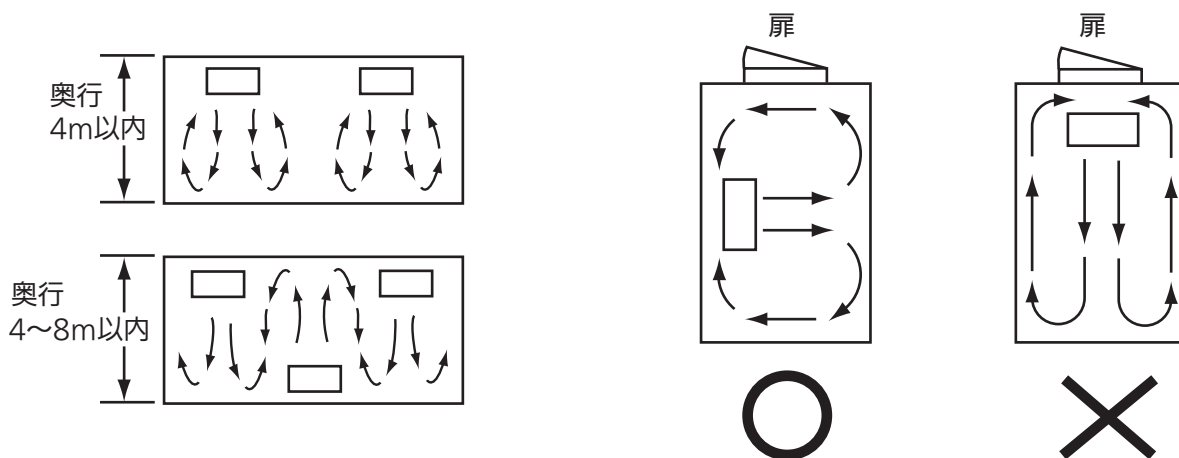
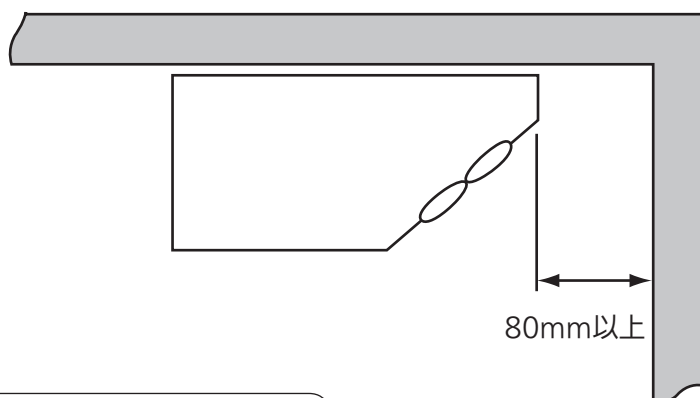
事故・損害（故障）免責のご注意

■本書説明に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で据え付けされたことにより事故や損害が発生した場合には、当社では責任を負えません。また、その据え付けが原因で故障が生じた場合には、当社保証の対象外となります。

設置場所

■温泉地や海岸付近での使用・保管は、故障の原因になることがあります。
（硫酸分や塩分が多いため）

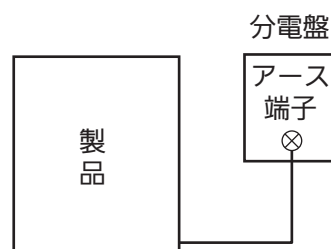
■冷蔵庫奥行寸法が４m以内の場合は、クーリングコイルを片側方面に並べてください。４mを越える場合は、両側に向かい合わせに取り付けてください。

■クーリングコイルを扉の近くにおきますと、扉の開閉時に外気の暖かい湿った空気を吸い込み、着霜が増し、能力が低下し、冷えない現象になりますので注意してください

■クーリングコイルは冷蔵庫の天井に直接取り付けます。
本体は冷却ファンが壁側に向くよう取り付けて、冷気の循環と取付工事、サービス等の施工を考え、後部と壁面には80mm以上の間隔をあけてください。

アース工事のお願い

ご使用前にアースが正しく確実に、取り付けられているかご確認ください。

■本製品は安全のため、必ずアース工事を行なってください。
（専門の業者によるD種接地工事が必要です。）

■ガス管や水道管、電話や避雷針のアース線には絶対に接続しないでください。
（法令で禁止されています。）

■ご不明な点はお買い上げの販売店、または専門の業者にご相談ください。

設置について

⚠ 警告

**H,FHタイプの
ドレンホースは
切断しない**

ヒーターが巻いてあり危険です。漏電・感電の原因になります。

**天井が弱い場合は
室内機取り付け部を
補強する**

補強不足や取り付けが不完全な場合、製品の落下によりけがの原因になります。

⚠ 注意

**H,FHタイプのドレンホース
には断熱材を巻かない**

ヒーターが巻いてあり危険です。
ドレンパイプの劣化、ヒーターの断線の原因になります。

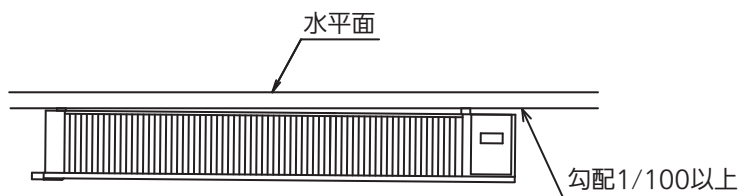
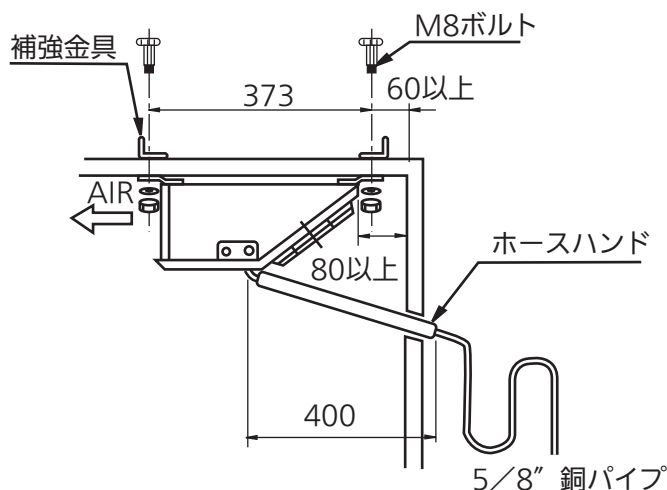
据え付け方法

①天井に取り付け穴寸法（P19）および製品仕様を参考に、貯蔵庫の天井に穴φ10㎜を所定の位置に所定の数を開けてください。

※据え付けようとする場所がクーリングコイルの重量に耐えられるか検討し、強度が不充分な場合は取り付け部を補強してください。

②M8ボルトを通して、下側からナットで固定してください。

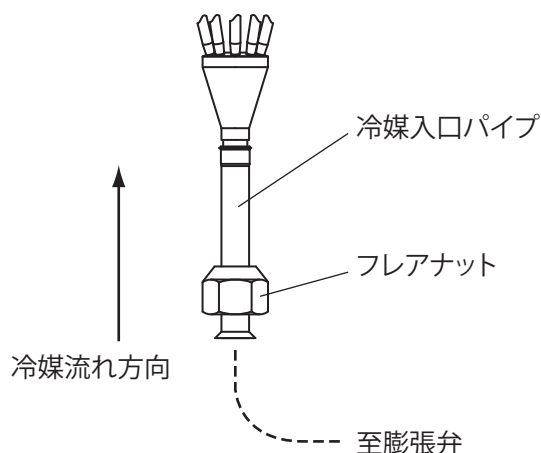
③ドレンホースの貯蔵庫庫外にUトラップを設けて、庫外からの空気の進入を防止してください。

④クーリングコイル本体を天井に取り付けてください。排水をスムーズにするため、クーリングコイルは天井に対してわずかな傾きをもって取り付きます。取り付け場所の状況により、傾斜が1/100より小さい場合は傾斜が1/100より大きくなるように調整してください。
※クーリングコイルハンガー金具と天井を密着（面接触）させてください。

⑤ドレンホースを付属のホースバンドで固定してください。H,FHタイプはドレンホース内にヒーターが組み込まれております。リード線はケース側面のリード線クリップを通し、ターミナルボックスへ接続してください。
（端子番号③、④）
※1.端子番号については、P20の製品電気回路図を参照してください。
※2.ホースバンドは、締めつけトルク1～1.5（N・m）で固定してください。

⑥Tシリーズクーリングコイルは、冷媒入口パイプに内部均圧式膨張弁をご使用ください。

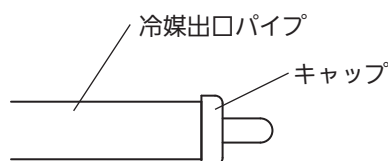
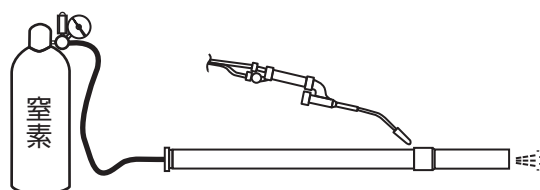
設置について

冷媒入口パイプの接続

■膨張弁の大きさ・形状などを検討のうえ膨張弁の配置・配管を決めてください。
冷媒入口パイプはフレア接続です。

溶接は有資格者が行う

配管の溶接・溶断は、法令により定められた有資格者が行なってください。

冷媒出口パイプの接続

■冷媒出口パイプには、キャップがロウ付けされています。
ロウ付け用バーナーにてキャップをあぶり、はずしてから冷媒配管にロウ付けしてください。

■溶接接続
溶接時には必ず、乾燥窒素ガスを通しながら溶接を行ない、配管内に酸化スケールが生成しないようにしてください。
また、配管の溶接時に炎がユニット内の電気配線や、内部の他の機器などに当たらないようにストレート板などで保護してください。

電気配線工事について

■電気工事は「電気設備に関する技術基準を定める省令」に従い電気工事士の有資格者が行なってください。
電源回路不良、容量不足、施工不備があると火災や漏電の原因になります。

感電防止

■安全のためD種接地工事によるアース（接地）を取り付けてください。電気設備技術基準により、アース工事をするほか、万一の感電や火災を防止し安全に使用していただくため、必ず漏電遮断器を取り付けてください。アース工事と漏電遮断器の設置は、お買い上げの販売店または電気工事店にご依頼ください。

■電源は、高温部（コンプレッサー、凝縮器、吹出配管）および金属のエッジ部に接触しないようにしてください。直接接触すると配線被覆の損傷により漏電の原因となります。

試運転について

■クーリングコイルおよび室外機の設置、配管、配線工事終了後、試運転を行なってください。

■試運転にはお客様に立合いをお願いして行い、実際に冷えていることを確認してください。

■「取扱説明書」は必ずお客様にお渡しください。
そして、「安全上のご注意」、「ご使用方法」、「お手入れのしかた」などをご説明ください。

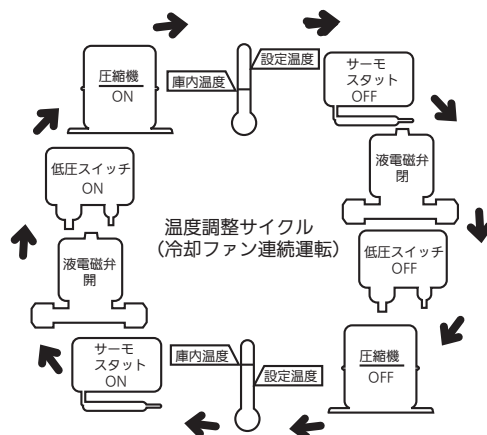
ご使用方法

温度調節について

■温度調節サイクル

① 市販の温度調節器（サーモスタット）が必要です。

② 庫内温度がサーモスタットの設定温度以下に冷えると、サーモスタットの作動により液電磁弁を閉じて運転するため、低圧圧力が下がることで低圧スイッチがOFFし、圧縮機は停止します。この時、冷却ファンは連続運転します。

③ 庫内温度がサーモスタットの設定温度以上に上昇した場合、サーモスタットが ONし、液電磁弁が開いて、冷却器に冷媒が流れ込むことで低圧圧力が上昇し、低圧スイッチが復帰して圧縮機は再び運転をはじめます。

このシステムの電気回路は配線図をご覧ください。

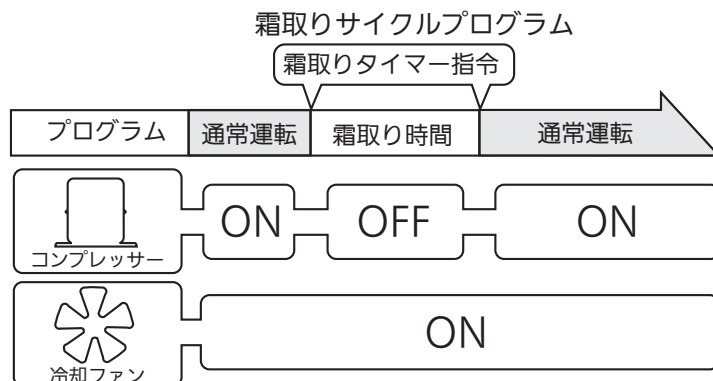
なお、弊社マイコンコントローラーSECT-C2300、クーリングシステムコントローラーSDT-12S1などをご使用になると現地での電気工事の短縮が図れます。

霜取りについて

霜取り方式	冷蔵庫温度	適用クーリングコイル
オフサイクル霜取	＋25℃ ～ ＋3℃	CC-T1330、CC-T1630
ヒーター霜取	＋3℃ ～ －10℃	CC-T1330H、CC-T1630H
	－10℃ ～ －35℃	CC-T1430FH

このシステムの電気回路は配線図をご覧ください。

オフサイクル霜取り

■冷蔵庫の温度が＋３℃を越える場合に使用されます。霜取りはタイマーによって開始され、圧縮機は停止して冷却ファンのみ運転します。冷却器に付着した霜は、冷蔵庫内の空気によって溶かされ、除霜することができます。霜取り回数は１日６回（１回15分セット）が標準ですが、着霜の状態によって回数を増減してください。霜取りタイマーは市販のタイマーをご使用ください。

ご使用方法

ヒーター霜取り

■冷蔵庫の温度が＋3℃以下の場合は、オフサイクル霜取りは除霜できません。この場合、ヒーター霜取りが必要です。このヒーター霜取りは、タイマーによって除霜が開始されます。
霜取り回数は1日4回を標準としています。1回当たりの霜取り終了時間は、霜取り終了感知サーモスタットからの霜取り終了信号とタイマーによる設定時間とのどちらか短い時間により決定されます。
標準霜取り時間は25分～30分程度ですが、着霜の激しい設置条件では50分程度の霜取り時間が必要な場合があります。この場合のタイマーの設定は、安全を考えて50分セットとしてください。
なお上記は標準的な設定ですので、着霜状態をご覧になり、着霜状態によっては霜取り回数を増減してください。霜取りタイマーは、弊社マイコンタイマーのご使用をお勧めいたします。

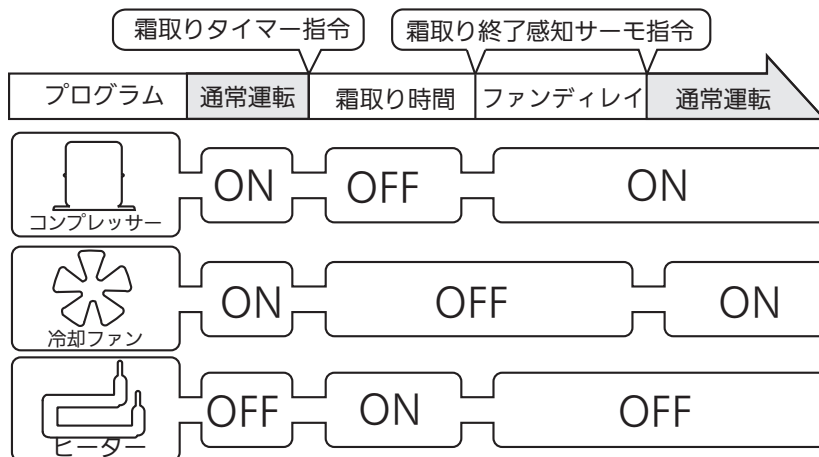
このシステムの電気回路は配線図をご覧ください。

霜取りサイクル

① 通常の冷却運転
クーリングコイルの冷却ファンは連続運転をし、圧縮機はサーモスタットと低圧スイッチの指令に従って冷却運転を行います。

② 霜取り
(a) 霜取りタイマーにより、圧縮機と冷却ファンが停止します。
(b) 冷却器にセットしている霜取りヒーターに通電され、短時間に除霜が行われます。
(c) ドレン水はドレンパイプを通って排水されます。ドレンパイプは常時通電されており、パイプ内部での氷結を防止しています。

③ 霜取り後の冷却運転
a. 冷却器が＋10℃になると霜取り終了感知サーモスタットにより、タイマーの接点は通常運転の位置に戻ります。
これによって、ヒーターへの通電が停止され、同時に圧縮機の運転を開始します。
b. 万一霜取り終了感知サーモスタットが故障した場合は、タイマーの設定時間でヒーターへの通電を停止します。またさらに冷却器が＋50℃になると、ヒーターの主回路中の異常過熱防止サーモスタットにより、ヒーターへの通電を直接切る方式を採用しております。

霜取りサイクルプログラム

点検とお手入れのしかた

⚠ 警告

製品の外側や庫内に直接水をかけたり、水洗いしたりしない

水ぬれ禁止

ショートなどによる感電・火災のおそれがあります。

ぬれた手で電源回路のスイッチを操作しない

ぬれ手禁　止

感電の原因になります。

お手入れのときは必ず電源回路を切る

火災や感電のおそれ

クーリングコイルケース（外側）

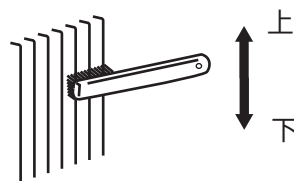
■柔らかい乾いた布でから拭きしてください。
汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた後、水を浸した布で拭きとってください。
アルカリ性または酸性洗剤・酸・油類・シンナー・ベンジン・アルコール・みがき粉・粉せっけん・熱湯・たわしを使用すると塗装やプラスチックを傷めますので使用しないでください。
台所用中性洗剤は容器に書いてある使用方法にしたがってください。

●いつも清潔にご使用いただくために定期的にお手入れをしてください。

ドレンパン

■ドレンパン固定ねじをドライバーで反時計方向に回すと、簡単にドレンパンが開きます。
底部を清掃してください。

冷却器

■フィンを傷めないように目にそってハケ、ブラシなどで清掃してください。

ファンモーターの保守点検について

Tシリーズに使用しているファンモータは保護サーモを内蔵しており、異常が起きた場合モータの温度上昇を感知して自動的に停止しますので、ファンモータの焼損が防止できます。もし、ファンがヒータ除霜時以外で庫内温度が＋8℃以下になっているにもかかわらず停止した場合は、ファンモータにロック電流が流れてファンが停止していることになります。ファンモータのロック原因を取り除いてください。

修理について

⚠ 警告

修理は販売店または、専門業者に依頼する

冷却運転中は高温になり、やけどの原因になります。

修理のときは必ず電源回路を切る

感電やファンによるケガ、ヒーターによるやけどの原因になります。

⚠ 注意

ヒータークリップを取りはずす場合、ドライバー等でこじらない

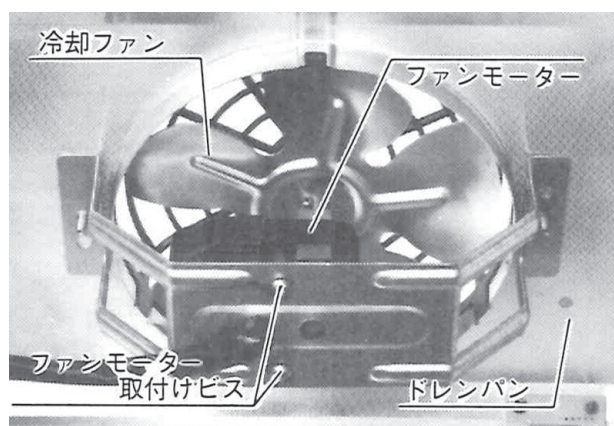
禁　止

パイプの変形、ガス漏れの原因になります。

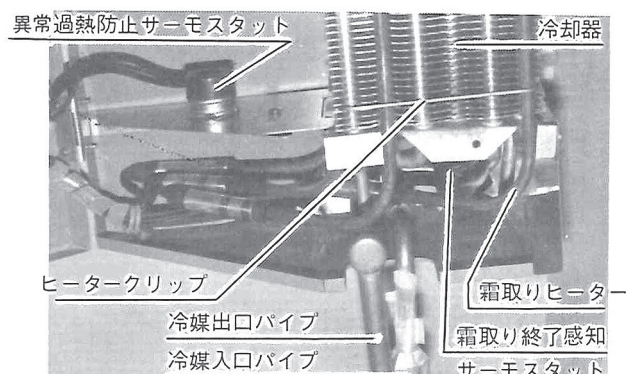
修理のときは手袋を着用する。

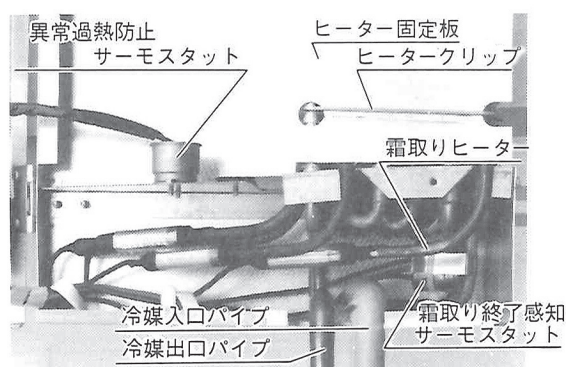
ケガの原因になります。

ファンモーターの交換

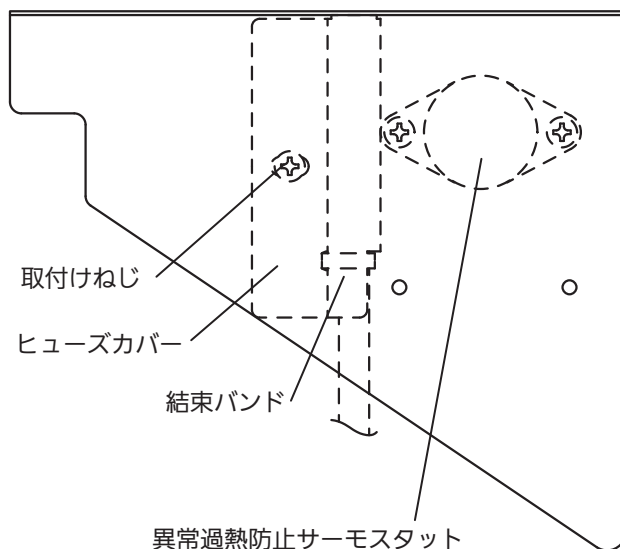
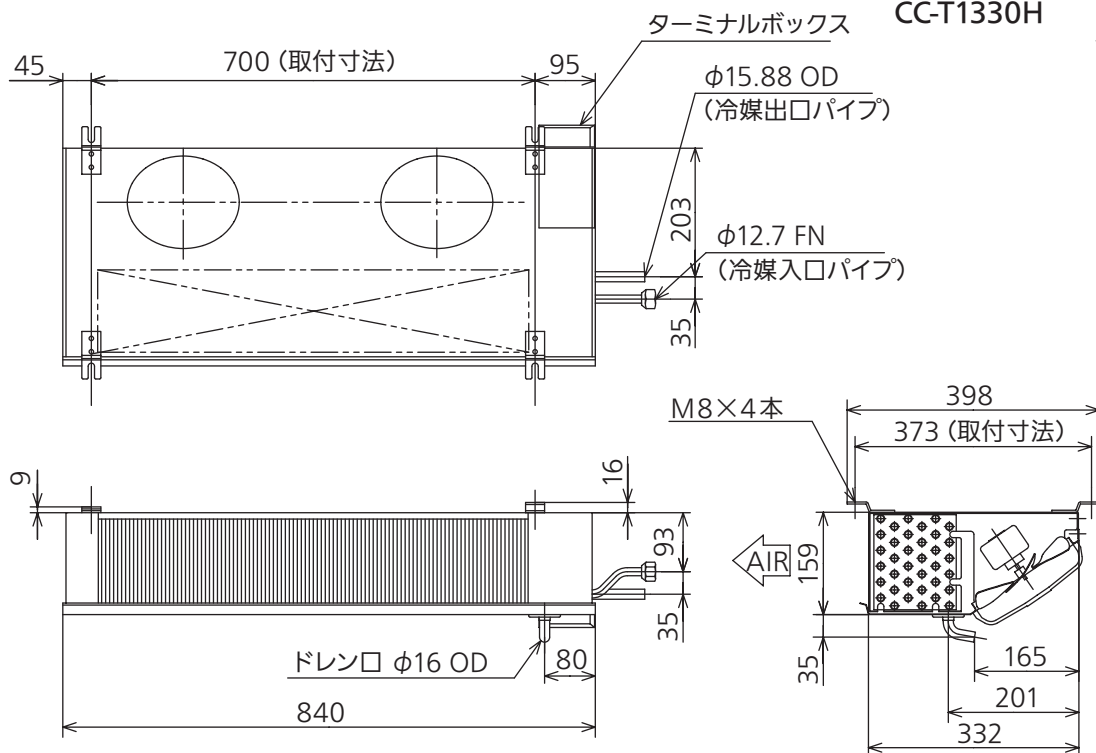
①ホースバンドをゆるめドレンホースを取りはずします。
②ターミナルボックスを開き、ファンモーター端子を取りはずします。
③ドレンパン固定ねじをはずしドレンパンを開きます。
④ファン固定ねじをゆるめファンを取りはずします。
⑤ファンモーター取付ねじを２本はずしファンモーターを取りはずします。

修理について

サーモスタットの交換

①ホースバンドをゆるめドレンホースを取りはずします。
②ターミナルボックスを開きサーモスタット端子を取りはずします。
③ドレンパン固定ねじをはずし、ドレンパンを開きます。
④銅パイプに取付けてあるのが霜取り終了感知サーモスタット冷却器側板にねじで取付けてあるのが異常過熱防止サーモスタットです。

霜取りヒーターの交換

①ホースバンドをゆるめ、ドレンホースを取りはずします。
②ターミナルボックスを開き、ヒーター端子を取りはずします。
③ドレンパン固定ねじをはずし、ドレンパンを開きます。
④エバ裏ヒーターを交換する場合は、左右2個のヒーター穴カバーを取りはずします。
⑤ヒータークリップをプライヤー（ペンチ・ラジオペンチ）で取りはずします。
⑥冷却器よりヒーターを取りはずします。

温度ヒューズの交換

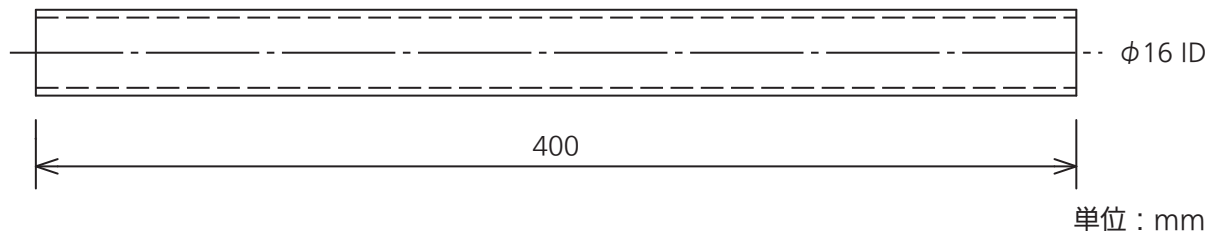
①ドレンパン固定ねじをはずし、ドレンパンを開きます。
②ターミナルボックスを開き、温度ヒューズ端子を取りはずします。
③温度ヒューズカバーのねじをはずし、ヒューズカバーごと温度ヒューズを取りはずします。
④ヒューズカバーの結束バンドをはずし、温度ヒューズ本体を取りはずします。
⑤温度ヒューズを交換の後は、はずした順番に元に戻してください。

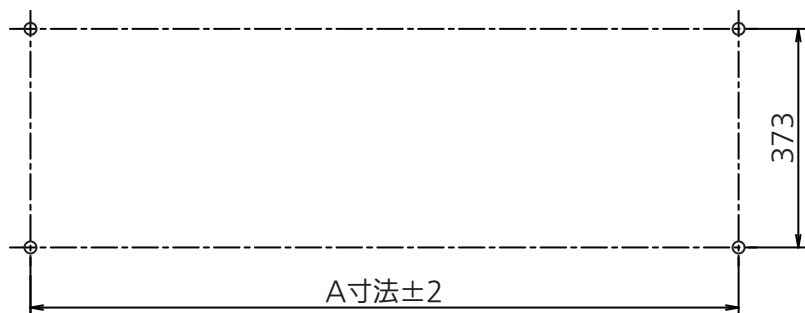
仕　様

品番		CC-T1330	CC-T1330H
外装ケース		アルミニウム	
使用温度		+25 ℃以下+3 ℃超	+3 ℃以下ー10℃まで
フィンピッチ		4.23 mm	
冷却面積		6.07 m^2	
冷凍能力　W	5 ℃TD	690 ／ 720	
	7 ℃TD	970 ／ 1,010	
	10 ℃TD	1,370 ／ 1,440	
ファンモーター		7 W×2 （入力 50/60 Hz 82/64 W）	
ファン直径		φ177 mm	
風量		8.8 ／ 9.4 m^3／min	
電源		単相 200 V 50／60 Hz	
総合消費電力	運転	87 / 69 W	114 / 96 W
	霜取り	87 / 69 W	807 / 807 W
総合消費電流	運転	1.01 / 0.73 A	1.15 / 0.87 A
	霜取り	1.01 / 0.73 A	4.03 / 4.03 A
霜取り方式		オフサイクル方式	ヒーター方式
ヒーター容量	霜取りヒーター	ー	775 W
	ターミナルボックスヒーター	4 W	5 W
	ドレンホースヒーター	ー	17 W
配管接続	冷媒入口パイプ	φ 12.7 mm FN（1/2"）	
	冷媒出口パイプ	φ15.88 mm OD（5/8"）	
	ドレン口	φ16 mm OD（ドレンホース内径φ16 mm ID）	
製品質量		10 ㎏	11 ㎏
適用冷凍機		600 W ～ 750 W	

仕　様

品番		CC-T1630	CC-T630H	CC-T1430FH
外装ケース		アルミニウム		
使用温度		＋25℃以下＋3℃超	＋3℃以下ー10℃まで	ー10℃以下ー35℃まで
フィンピッチ		4.23 mm		6.35 mm
冷却面積		7.85 m^2		5.56 m^2
冷凍能力　W	5℃TD	860／910		770／800
	7℃TD	1,210／1,270		1,070／1,130
	10℃TD	1,720／1,800		1,530／1,600
ファンモーター		7 W×2（入力 50/60 Hz 82/64 W）		
ファン直径		φ177 mm		
風量		10.4／11.0 m^3／min		11.4／12.0 m^3／min
電源		単相 200 V 50／60 Hz		
総合消費電力	運転	87 / 69 W	114 / 96 W	
	霜取り	87 / 69 W	1,002 / 1,002 W	1,282 / 1,282 kW
総合消費電流	運転	1.01 / 0.73 A	1.15 / 0.87 A	
	霜取り	1.01 / 0.73 A	5.01 / 5.01 A	6.41 / 6.41 A
霜取り方式		オフサイクル方式	ヒーター方式	
ヒーター容量	霜取りヒーター	ー	970 W	1,250 W
	ターミナルボックスヒーター	4 W	5 W	
	ドレンホースヒーター	ー	17 W	
配管接続	冷媒入口パイプ	φ 12.7 mm FN（1/2"）		
	冷媒出口パイプ	φ15.88 mm OD（5/8"）		
	ドレン口	φ16 mm OD（ドレンホース内径φ16 mm ID）		
製品質量		13 kg	14 kg	13 kg
適用冷凍機		750 W ～ 1,100 W		

付属部品寸法

ドレンホース

単位：mm

製品取付天井寸法

単位：mm

A寸法	対象機種
700	CC-T1330、T1330H
900	CC-T1630、T1630H、T1430H

製品電気回路図

ＣＣ－Ｔタイプ　ヒーター霜取り機

クーリングコイル
コントローラーへ

共通ライン
（単相200V）

防露ヒーター
（単相200V）

霜取りヒーター
（単相200V）

ファンモーター
（単相200V）

霜取りヒーター用
電磁接触器へ

1
2
3
4
5
6
7
8

8P端子板

アース端子

茶

赤

霜取り終了
感知サーモ

黒

過熱防止器

黒

白

黒

温度ヒューズ
（96℃ 250V-5A）

黒 黒 黒 黒

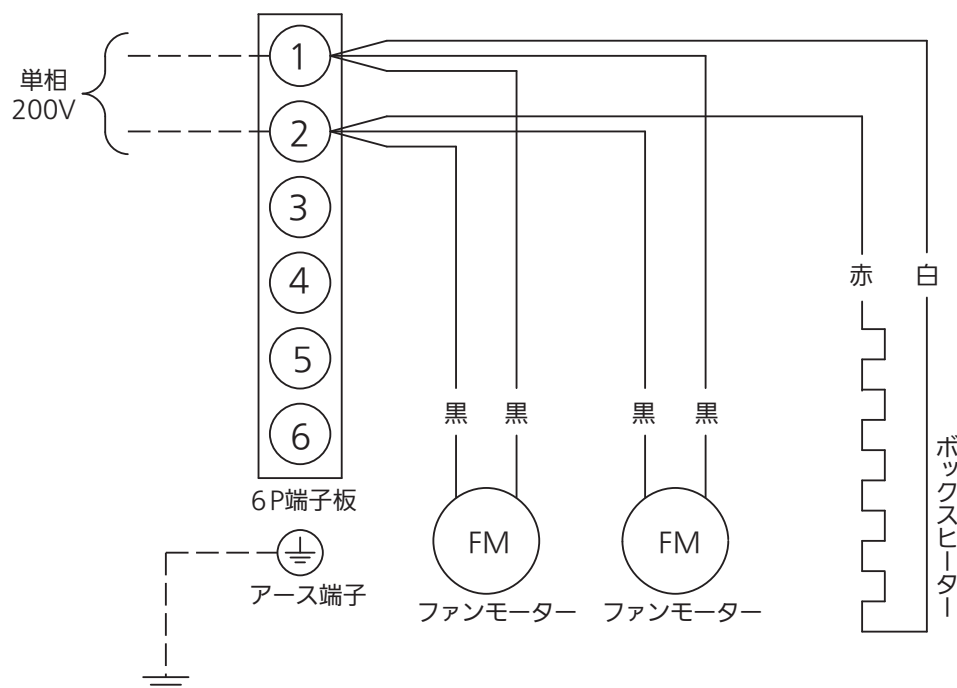
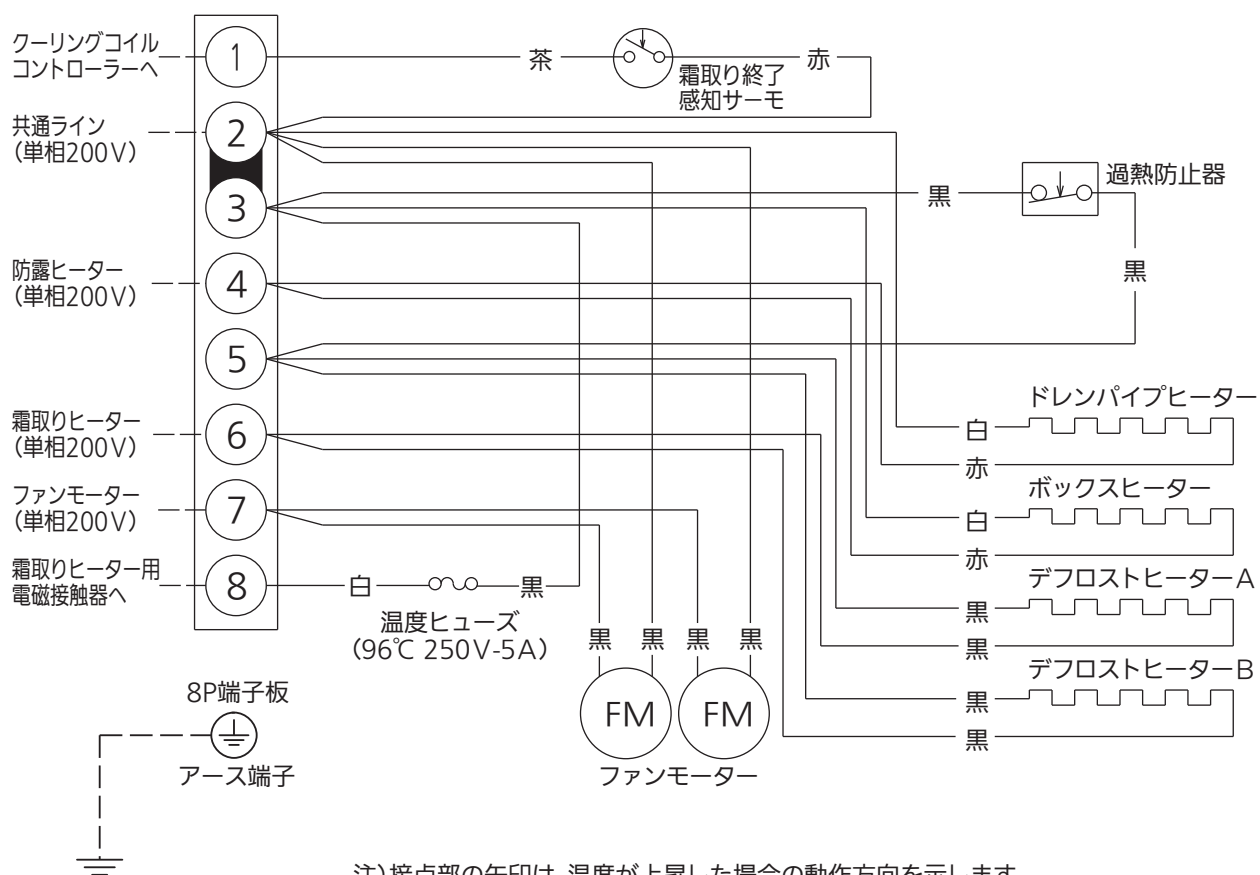
FM FM

ファンモーター

ドレンパイプヒーター
白
赤

ボックスヒーター
白
赤

デフロストヒーターA
黒
黒

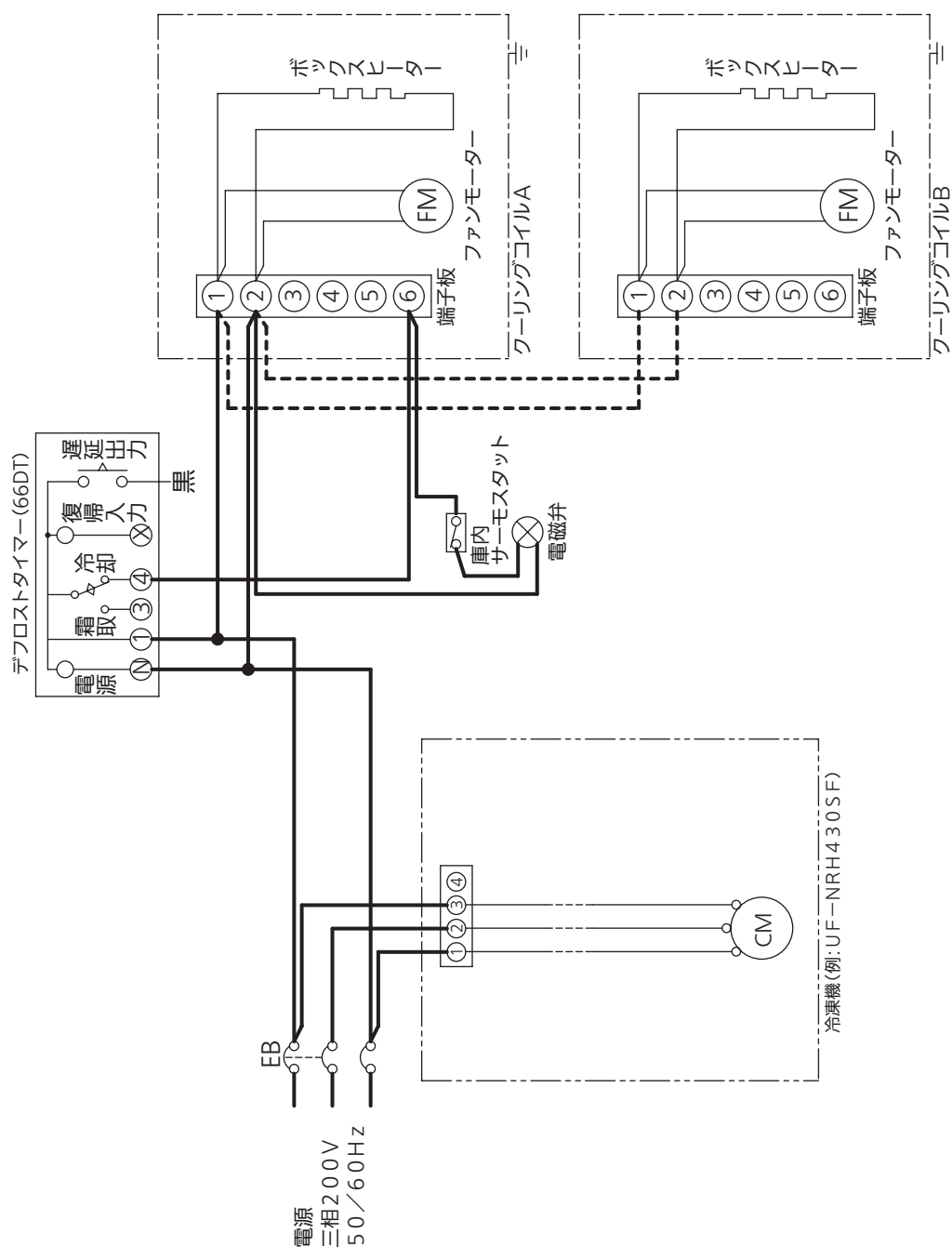
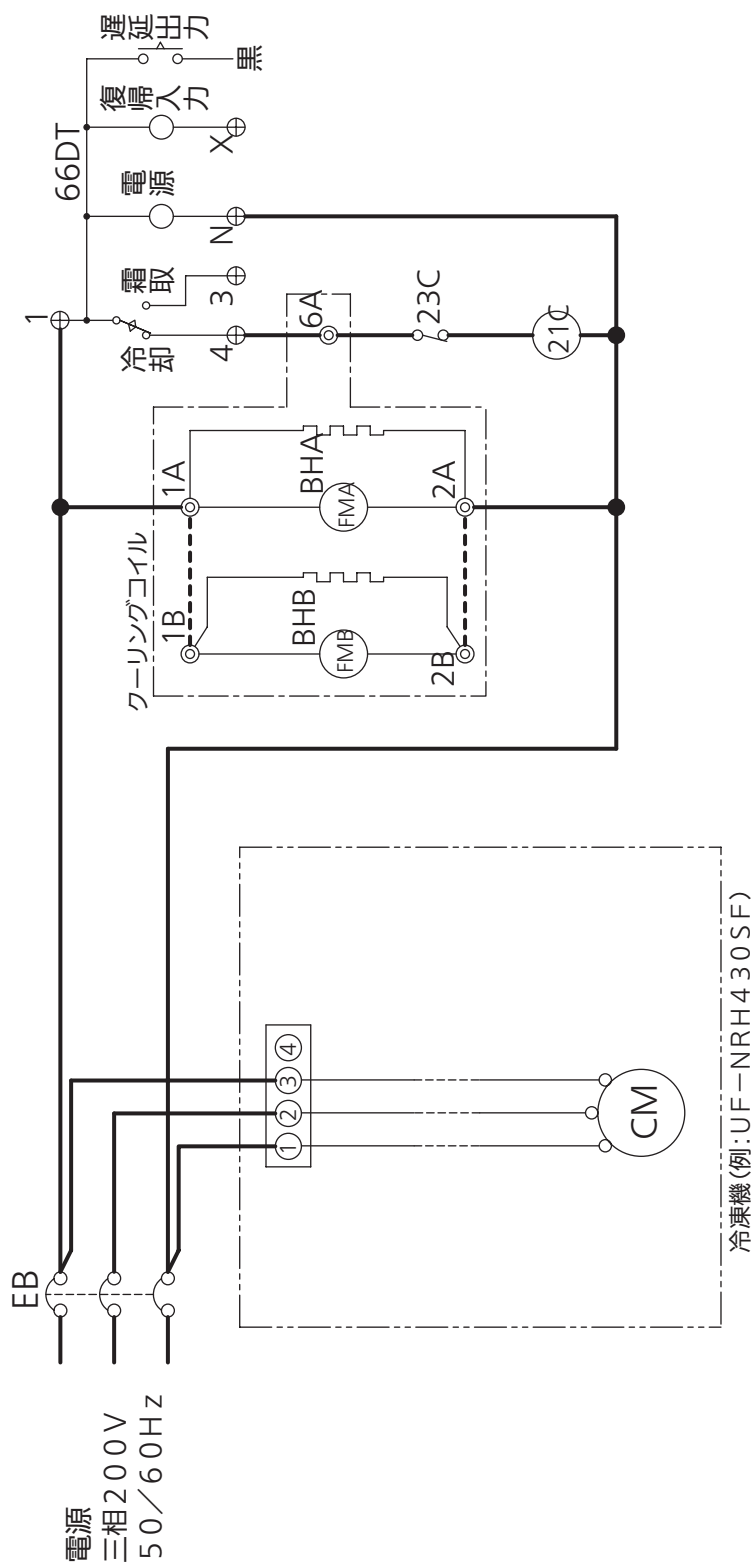
デフロストヒーターB
黒
黒

注）接点部の矢印は、温度が上昇した場合の動作方向を示します。

配線図

オフサイクル霜取り（1・2台連結）三相200V用（デフロストタイマーSDT-53TFを使用の場合）

電気配線図1

〔サーモオフ時：ポンプダウン
霜取時　　　：ポンプダウン〕

配線図

操作回路図1

記　号	名　　　称
⊕	デフロストタイマー端子板
◎	クーリングコイル端子板
66DT	デフロストタイマー（SDT－53TF）
21C	液管電磁弁
23C	庫内サーモスタット
CM	コンプレッサーモーター
FMA,B	ファンモーター
EB	漏電遮断器
BHA,B	ボックスヒーター

注1）━━━━━━ の配線は、現地で行なってください。
注2）ー・ー・ー の内部は、工場にて配線済です。
注3）庫内サーモスタット, 電磁弁, 漏電遮断器は、市販品をご使用ください。
注4）冷凍機の詳細については冷凍機の施工説明書を参照ください。

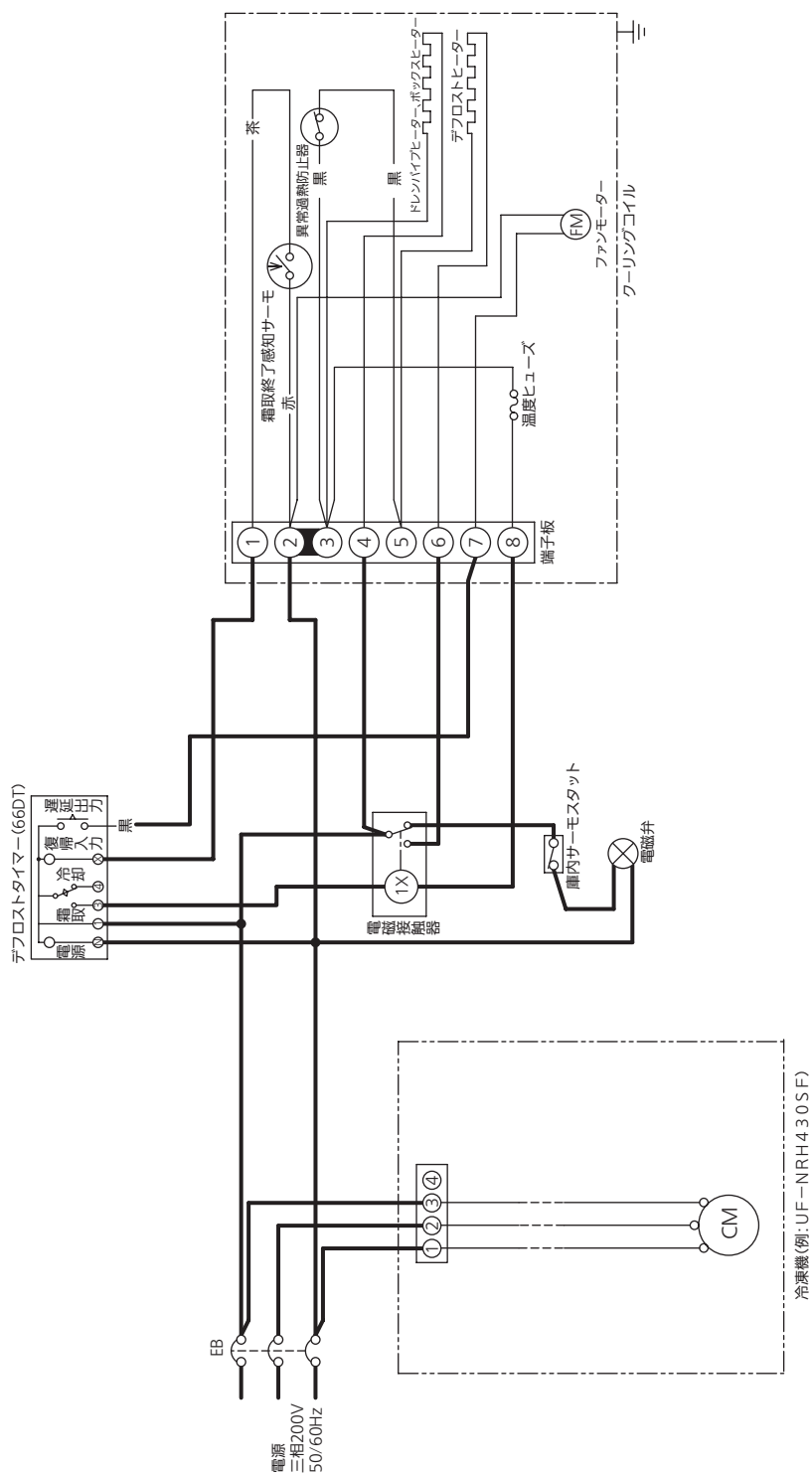
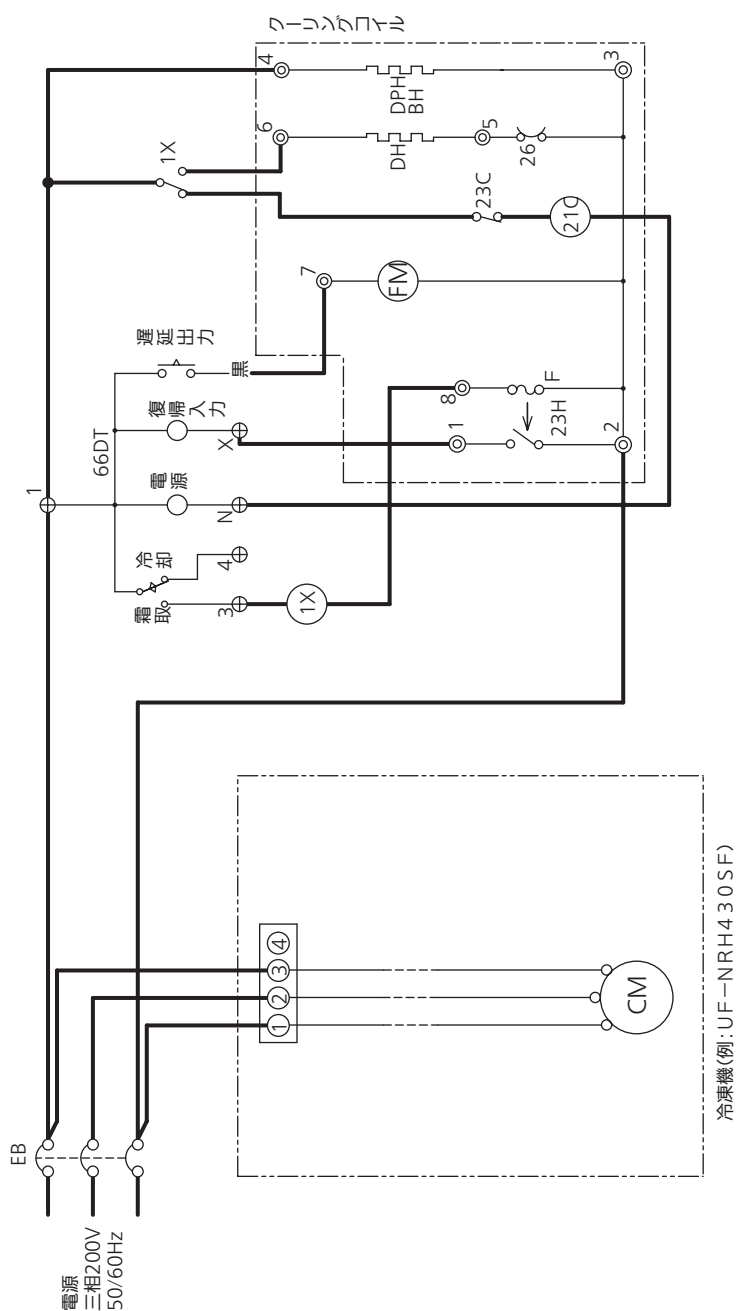
⚠ この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器の設置とアース配線工事が必要です。

配線図

ヒーター霜取り（1台連結）三相200V用（デフロストタイマーSDT-53TFを使用の場合）

電気配線図2

〔サーモオフ時:ポンプダウン
霜取時　　　:ポンプダウン〕

配線図

操作回路図2

記　号	名　称
⊕	デフロストタイマー端子板
◎	クーリングコイル端子板
66DT	デフロストタイマー（SDT−53TF）
21C	液管電磁弁
1X	電磁接触器（注6）
23C	庫内サーモスタット
CM	コンプレッサーモーター
FM	ファンモーター
DH	デフロストヒーター
DPH	ドレンパイプヒーター
26	異常過熱防止用サーモスタット
23H	霜取終了感知サーモスタット
EB	漏電遮断器
BH	ボックスヒーター

注1）━━━ の配線は、現地で行なってください。
注2）＝・＝ の内部は、工場にて配線済です。
注3）庫内サーモスタット, 電磁弁, 漏電遮断, 電磁接触器は、市販品をご使用ください。
注4）高低圧圧力スイッチへの配線の詳細については冷凍機の取扱説明書を参照ください。

注6）電磁接触器は負荷の容量に見合ったものを選定ください。

⚠ この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器の設置とアース配線工事が必要です。

配線図

ヒーター霜取り（2台連結）三相200V用（デフロストタイマーSDT-53TFを使用の場合）

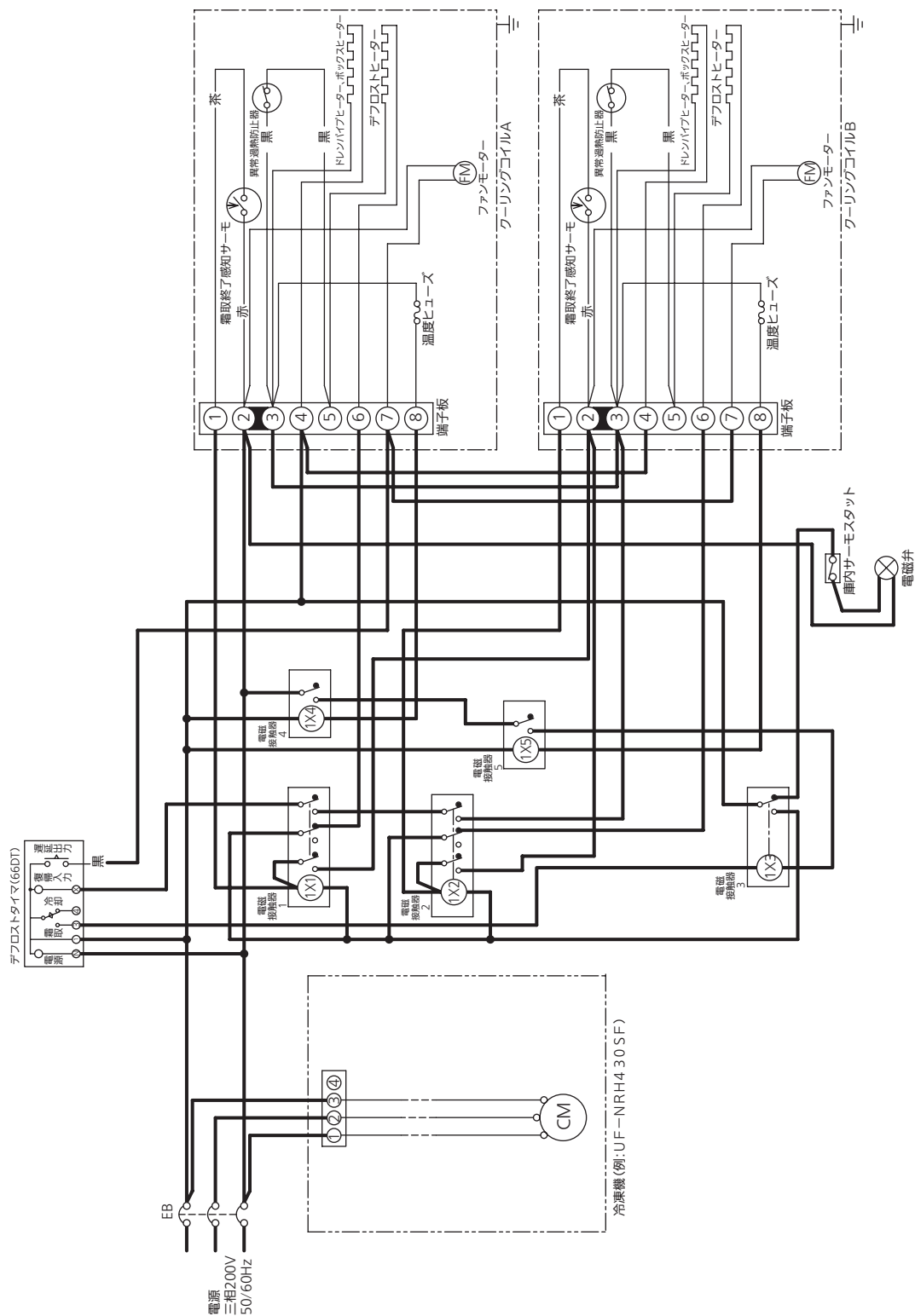
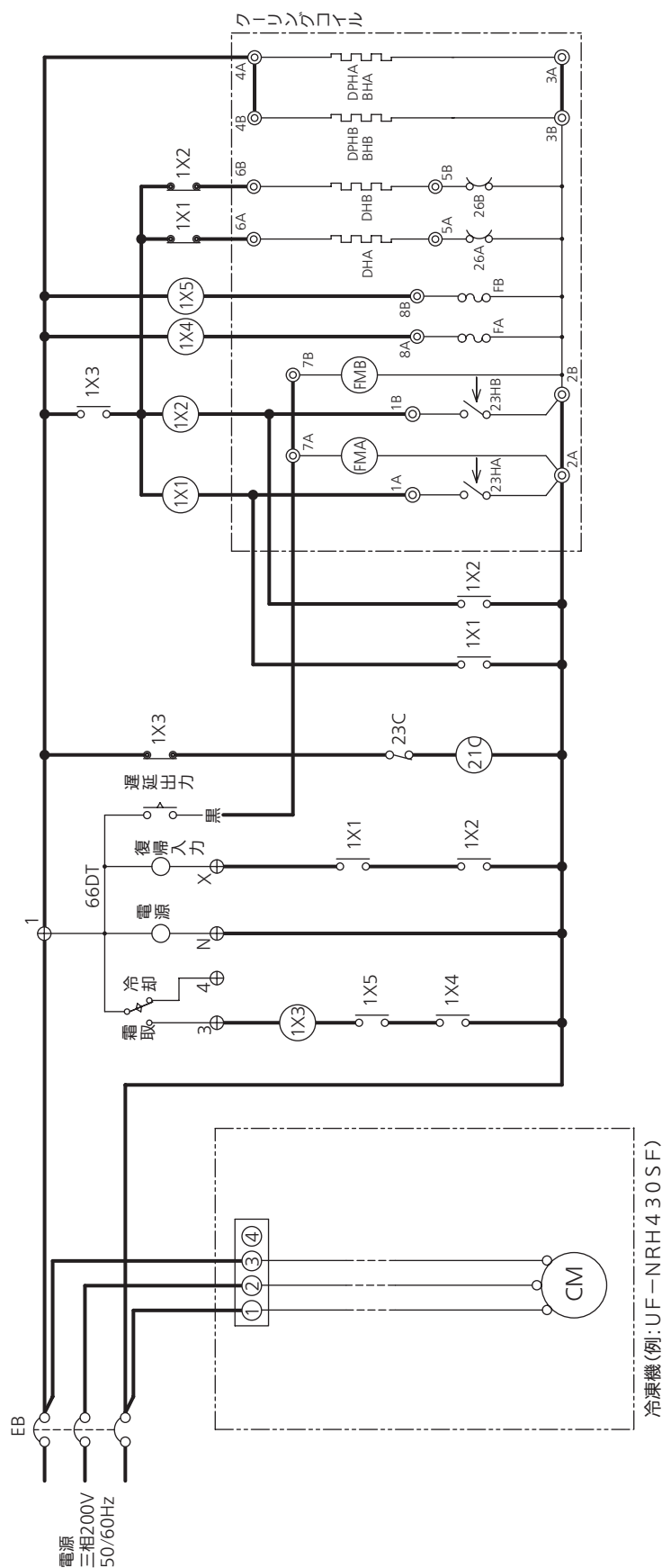
電気配線図3

〔サーモオフ時：ポンプダウン
霜取時　　　：ポンプダウン〕

配線図

操作回路図3

注１）━━━ の配線は、現地で行なってください。
注２）═·═·═ の内部は、工場にて配線済です。
注３）庫内サーモスタット，電磁弁，漏電遮断器，電磁接触器は、市販品をご使用ください。
注４）高低圧圧力スイッチへの配線の詳細については冷凍機の取扱説明書を参照ください。

注６）電磁接触器は負荷の容量に見合ったものを選定ください。

記　号	名　　称
⊕	デフロストタイマー端子板
◎	クーリングコイル端子板
66DT	デフロストタイマー（SDT−53TF）
21C	液管電磁弁
1X1, 2, 3 4, 5	電磁接触器（注６）
23C	庫内サーモスタット
CM	コンプレッサーモーター
FMA, B	ファンモーター
DHA, B	デフロストヒーター
DPHA, B	ドレンパイプヒーター
26A, B	異常過熱防止用サーモスタット
23HA, B	霜取終了感知サーモスタット
EB	漏電遮断器
BHA, B	ボックスヒーター
FA, FB	温度ヒューズ96℃（250V−10A）

⚠ この製品をご使用になる場合は、漏電遮断器の設置とアース配線工事が必要です。

◎お客様メモ

ご購入の際に記入しておいてください。修理など依頼されるとき便利です。

品　　　番	
ご購入年月日	年　　　月　　　日
ご購入店名	
	電話（　　　）　　　ー

パナソニック株式会社　コールドチェーン事業部

〒370-0596　群馬県邑楽郡大泉町坂田1丁目1番1号

© Panasonic Corporation 2012-2015

部品品番
3FL6P110076005

C0413-5045